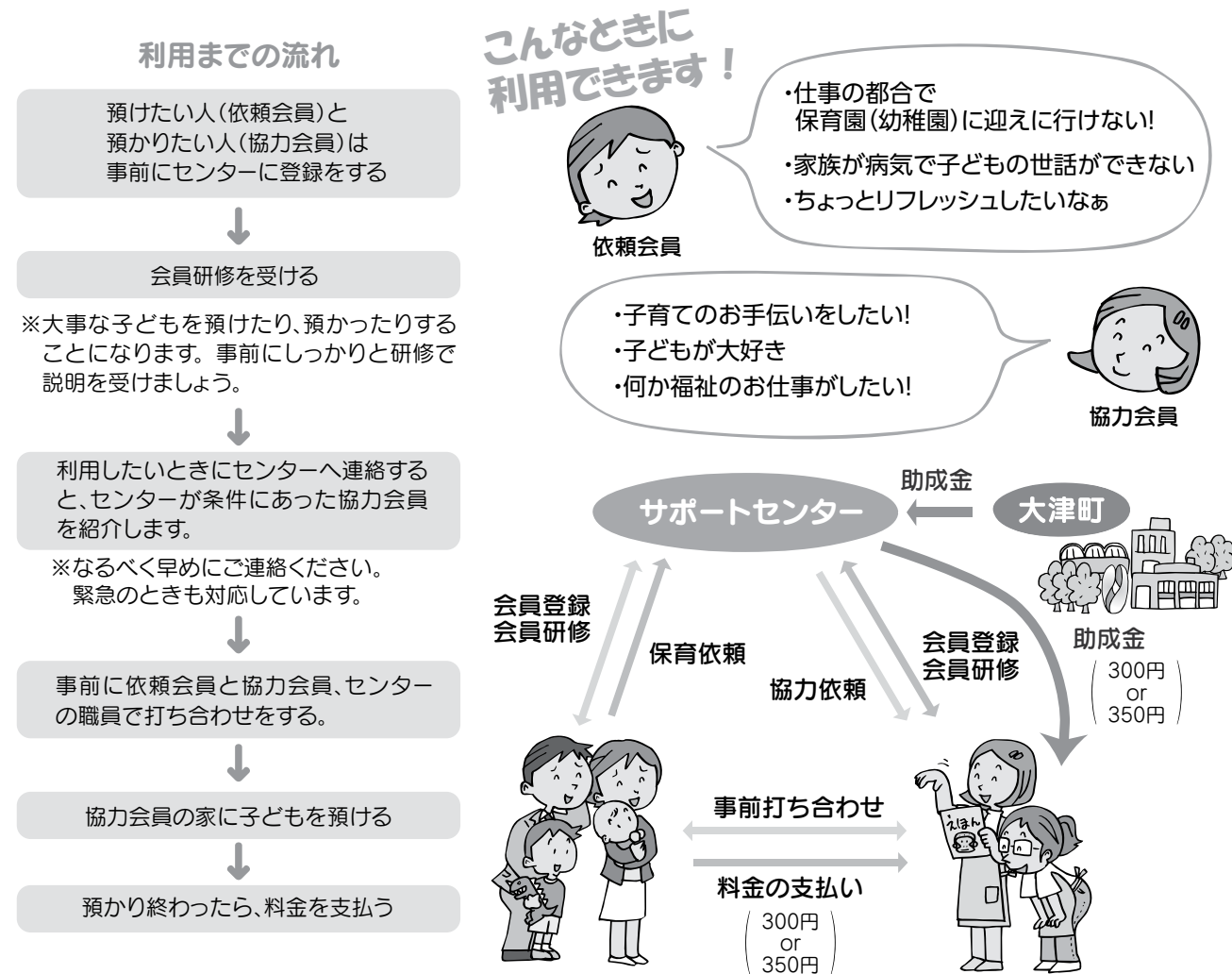




ファミリー・サポート・センター「ほほえみ」を知っていますか？

子どもを預けたい人と、預かりたい人が助け合う事業です



● お子さんを預かるのは、元気のもとです！ ●

10年間、協力会員をしている人に話を聞いてみました

子どもが好きで、10年前に登録をしました。
子どもの笑顔を見ると、自分も子どものような笑顔になります。「大変でしょう」と言われますが、子どもから楽しさや元気をいっぱいもらうので苦になりません。
「ほほえみ」で出会った人とは今でもお付き合いをしています。たくさんの人と出会うことで世界が広がりました。

～預かった子どももすぐに慣れ、その会員さんは「大津のおばあちゃん」と呼ばれているそうですよ～

まずは登録をしてみませんか？ファミリー・サポート・センターへお越しください。

料 金	依頼会員	協力会員	申し込み・問い合わせ
	1時間 300円 (月～金)午前7時～午後8時 上記以外は350円	1時間 600円(月～金)午前7時～午後8時 上記以外は700円(料金の半分は、町からの助成金) ●助成金はまとめて月末にお渡しします	ファミリー・サポート・センター (町子育て・健診センター内) ☎(294)9511

※依頼会員、協力会員の両方登録することもできます。



マイバッグキャンペーンとレジ袋無料配布中止にご協力を

10月は、県下一斉にマイバッグキャンペーンが行われ、レジ袋の無料配布中止も取り組まれています。皆さんもお買い物の際には、マイバッグを持参しましょう。

地球温暖化防止や循環型社会の構築を目的に、10月1日から31日にかけて、「マイバッグキャンペーン(買い物袋持参運動)」が行われます。これは熊本県が推進している、レジ袋削減の取り組みの一つで、熊本県内全域が対象となっています。

また「レジ袋の無料配布中止」に取り組む店舗も増えてきています。すでに町外の一部の店舗では無料配布の中止が開始されており、今後この取り組みは続けられ、無料配布中止の店舗数も増加すると予想されます。

キャンペーン期間に限らず、お買い物の際は、マイバッグ持参にご協力をお願いします。

レジ袋削減の効果

レジ袋を減らすことで、こんな効果が

1 ごみの減量 レジ袋は1人当たり年間約300枚使われていると言われています。不要なレジ袋を断ることで、ごみの量を減らすことができます。

2 石油資源の消費抑制 レジ袋1枚を生産するのに、原料として約20ml(おちょこ1杯程度)の石油が使われています。レジ袋を減らすことで、貴重な石油資源を大事に使うことができます。

3 地球温暖化の防止 レジ袋を燃やすと、地球温暖化の原因となるCO₂(二酸化炭素)が発生します。レジ袋を減らすと地球温暖化を防ぐことができます。

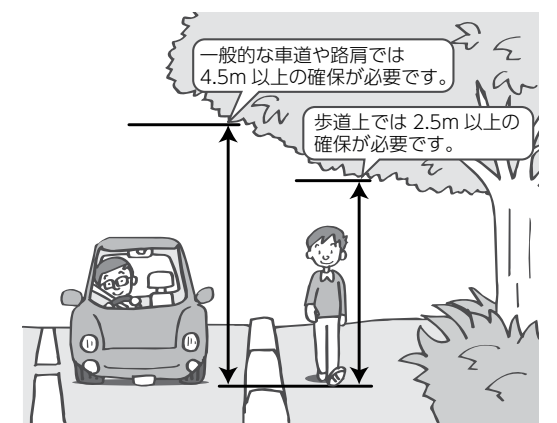
4 使い捨てライフスタイルの見直し レジ袋を断ることは、普段の買い物で、誰でもすぐに、簡単に取り組むことができる身近な行動です。「使い捨てライフスタイル」から「資源を大切にするライフスタイル」へ見直すきっかけになります。

道路に張り出した木は切りましょう

あなたの土地の樹木が道路に倒れたり、張り出したり、枝が落ちたりして歩行者や車の通行の妨げになっていませんか？

私有地から道路に張り出している枝や葉は、土地の所有者に所有権があります。県や町では切ることができませんので所有者にせん定をお願いしています。

木の枝や生け垣が道路上に張り出したり覆いかぶさったりすると通行しづらだけでなく交通事故の原因にもなりかねません。交通事故防止のためにも所有者の定期的なせん定をお願いします。



○問い合わせ 役場道路整備課 道路維持係 ☎(293)2815
菊池地域振興局 維持管理課 ☎0968(25)2167